

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-050431
 (43)Date of publication of application : 15.02.2002

(51)Int.CI.

H01R 13/52

(21)Application number : 2000-234185

(71)Applicant : SUMITOMO WIRING SYST LTD

(22)Date of filing : 02.08.2000

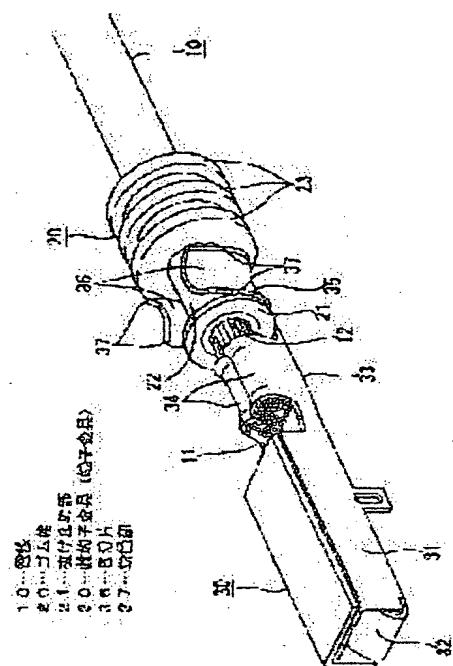
(72)Inventor : INOUE KENJI

(54) HOLDING STRUCTURE OF RUBBER STOPPER AND METAL FITTING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a rubber stopper from damage.

SOLUTION: To a female terminal metal fitting 30, a wire barrel part 33 to be press welded to core wires 11 of an electric cable 10, and an insulation barrel part 35 fixed to a rubber stopper 20 which is fitted to the electric cable 10, are installed standing before and behind. A pair of fixing pieces 36 forming the insulation barrel part 35 are formed in the shape of arc, bending against the axial direction of the electric cable 10. When both fixing pieces 36 are caulked, a tubular part for mounting 22 of the rubber stopper 20 is held in a state of being clamped with pressure by the fixing pieces 36 at its middle part of longitudinal direction. On the other hand, end periphery parts 37 at front and rear part of the fixing pieces 36 are located at the position extruding from outer surface of the tubular part for mounting 22, without contacting with the tubular part for mounting 22.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

審査請求 未請求 請求項の数 2

(2/全5頁)
(43)公開日 平成14年(2002)2月15日(51)Int.C1.7
H 01 R 13/52
301F I
H01R 13/52
301 E

(21)特願2000-234185

(22)出願平12年(2000)8月2日

(71)出願人 住友電装株式会社
 (72)発明者 井上 研二
 (74)代理人 弁理士 後呂 和男 (外1名)

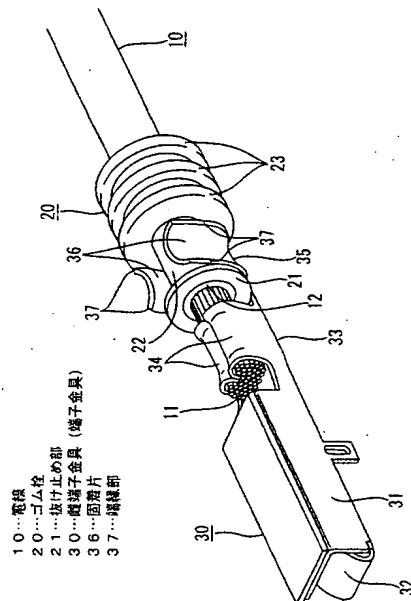
【発明の名称】ゴム栓と端子金具の保持構造

『続きあり』

(57)【要約】

【課題】ゴム栓が損傷を受けるのを防ぐ。

【解決手段】雌端子金具30には、電線10の芯線11に圧着接続されるワイヤバーレル部33と、電線10に嵌着されたゴム栓20に固着されるインシュレーションバーレル部35とが前後に並んで設けられている。インシュレーションバーレル部35をなす一対の固着片36は、電線10の軸線方向に対して弧状に湾曲した形状に形成されている。両固着片36がかしめ付けられると、固着片36における長さ方向の中央部分によりゴム栓20の取付筒部22が挟状態に保持される。一方、固着片36における前後の端縁部37は、取付筒部22の外周面よりも外側に突出した位置に配されて、取付筒部22とは非接触とされる。



【発明の属する技術分野】

本発明は、ゴム栓と端子金具の保持構造に関する。

【作用】

<請求項1の発明>一対の固着片がゴム栓に固着されると、ゴム栓は両固着片の対向面間に挟圧される。このとき、両固着片の端縁部がゴム栓の外周面と非接触となるように外方へ向けて配されているから、ゴム栓が傷付けられるのを防ぐことができる。

<請求項2の発明>ゴム栓に引っ張り力が作用した場合でも、ゴム栓は両固着片の対向面間に挟圧され、且つ抜け止め部が両固着片に係合することで、電線及びゴム栓が端子金具から取り外されるのを防ぐことができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】電線の末端部分には、ゴム栓が嵌着されるとともに、このゴム栓に対して端子金具に設げられた一対の固着片にて固着されることで、前記電線に対して前記ゴム栓と共に前記端子金具が保持されるものにおいて、

前記一対の固着片は、前記ゴム栓に対して前記電線の軸線方向と交差する方向から挟み付けられるとともに、両固着片の端縁部が固着時に前記ゴム栓の外周面に非接触となるよう外方へ向けて折り曲げて形成されていることを特徴とするゴム栓と端子金具の保持構造。

【請求項2】前記ゴム栓には、前記電線が引っ張られたときに前記一対の固着片に対して係合可能な抜け止め部が外方へ突出して設けられていることを特徴とする請求項1記載のゴム栓と端子金具の保持構造。

『書誌事項の続き』

【テーマコード（参考）】

5E087

【Fターム（参考）】

5E087 FF08 FF13 LL03 LL12 RR06 RR11 RR12

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る雌端子金具とゴム栓付き電線の斜視図

【図2】ゴム栓付き電線に雌端子金具を圧着した状態を示す斜視図

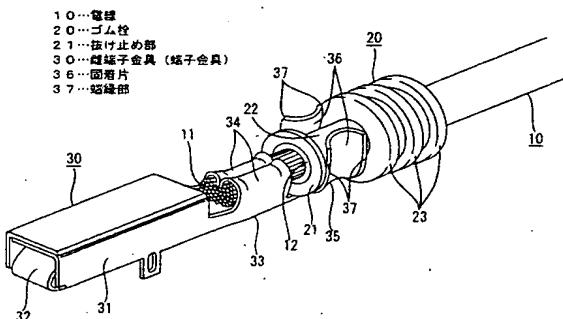
【図3】図2の平面図

【図4】従来例の斜視図

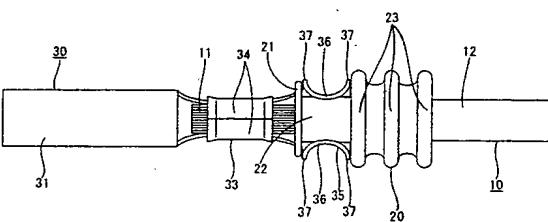
【符号の説明】

- 10…電線
- 20…ゴム栓
- 21…抜け止め部
- 30…雌端子金具（端子金具）
- 36…固定片
- 37…端縁部

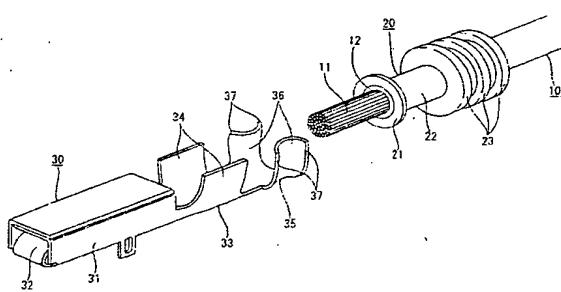
【図2】



【図3】



【図1】



【図4】

